# Zoom 学習会
# ゲノム編集技術開発の現状と今後

2012 年に CRISPR/Cas9 というゲノム編集のツールが発表されて以来、従来の遺伝子組み換え操作より容易なため、ゲノム編集技術を使った植物、動物、さらにはヒト胚細胞系列の研究や開発が世界中で急速に進展しています。今までにないこの技術は、動植物の改変による農作物、畜産物の品種改良や医療、創薬、さらには軍事利用など応用範囲も広いとされています。中国の科学者による受精卵にゲノム編集を施した双子の赤ちゃんが生まれたニュースが流れるなど、安全面、倫理面などの問題もあり、マスコミにも取り上げられています。市民は驚異を持ち、これらの情報に関心を持つが、専門的な技術でもあり、ただ不安視したり、信憑性のない情報に惑わされている面も見うけられます。確かにオフターゲット、モザイクなどが十分回避されていない状況で商品として売られていくのではないか、実用化されていくのではないかと心配です。
そこで今回、実際にゲノム編集技術を使って研究・開発されているお二人に、実例をもとにわかりやすくゲノム編集技術の現状と今後についてお話していただきます。江面浩教授にはゲノム編集による高 GABA トマトの開発について、どこまで開発されているのか、課題は何か、品種改良とゲノム編集の関係などと共にお話いただきます。
また、真下知士教授には純国産ゲノム編集技術とされている CRISPR-Cas3 の開発を中心に、より効率的で安全性の高いノックアウトやノックイン技術の実現に向けての研究の現状について、ゲノム編集技術の安全性と有効性や特許や規制を含めた技術動向なども含めてお話しいただきます。
実際にゲノム編集の研究に携わっておられるお二人から直接お聞きできるチャンスです。
新型コロナウイルス感染予防のため、オンラインとなりますが、多くの参加を望みます。

記

日時：2020 年 11 月 29 日（日）　13 時 30 分～16 時 30 分　Zoom 入場　13 時 00 分より
講師：江面浩さん　　筑波大学生命環境系教授
　　真下知士さん　　東京大学医科学研究所教授
司会：島薗進さん　　上智大学特任教授・東京大学名誉教授

進行：13 時 30 分～13 時 40 分　挨拶と諸注意
　　13 時 40 分～14 時 20 分　江面浩さん講演
　　休憩　5 分間
　　14 時 25 分～15 時 05 分　真下知士さん講演
　　休憩　5 分間
　　15 時 10 分～15 時 50 分　パネルディスカッション
　　15 時 50 分～16 時 30 分　質疑応答

**Zoom**
**参加費 1000 円**

こちらからもお申し込みできます

予約方法：
- 参加は事前予約とします。（予約受付は、10 月 19 日から 11 月 26 日まで）
- 予約は名前（ふりがな必須）、連絡先（E-mail 必須）、職種・団体（任意）を明記の上、E-mail：jreikochan@yahoo.co.jp　神野玲子へ申し込みください
  ＊連絡先の E-mail アドレスを誤ると参加案内が送れませんので注意を！

参加費振り込み方法：
- 事前に 11 月 26 日までに下記に振込みください、
  【郵便局からのご送金】の場合：口座番号　10290-70860881　口座名義　神野玲子
  【他行からのご送金】の場合：ゆうちょ銀行 028 店　普通 7086088　口座名義　神野玲子
- 参加費お振込みされた方に 11 月 26 日頃に案内と ZoomURL をお送りします。

主催：ゲノム問題検討会　　（ホームページ　https://www.gnomeke06.net/）
問い合わせ：090-2669-0413　神野玲子